RULES FOR THE FIS ALPINE CONTINENTAL CUPS

REGLEMENT DER ALPINEN FIS CONTINENTALCUPS

REGLEMENT POUR LES COUPES CONTINENTALES FIS DE SKI ALPIN

EUROPEAN CUP
NOR-AM CUP
FAR EAST CUP
SOUTH AMERICAN CUP
AUSTRALIA NEW ZEALAND CUP

EDITION 2018/19

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE SKI
INTERNATIONAL SKI FEDERATION
INTERNATIONALER SKI VERBAND

INTERNATIONAL SKI FEDERATION

Blochstrasse 2; CH- 3653 Oberhofen / Thunersee; Switzerland
Phone: +41 (33) 244 61 61
Fax: +41 (33) 244 61 71
E-mail alpine@fisski.com

Alpine FIS World and Continental Cup Office

Alpine Rules administration

Tatjana Lüssy: +41 (33) 244 61 63
E-Mail: luessy@fisski.com

CONTINENTAL CUPS

GROUPS OF NATIONS

EUROPEAN CUP (EC)
AND, AUT, BEL, BIH, BLR, BUL, CRO, CZE, DEN, ESP, EST, FIN, FRA, GBR, GEO, GER, GRE, HUN, IRL, ISL, ISR, ITA, KOS, LAT, LIE, LTU, LUX, MON, MDA, MKD, MNE, NED, NOR, POL, POR, ROU, RUS, SLO, SMR, SRB, SUI, SVK, SWE, TUR, UKR

NOR AM CUP (NAC)
CAN, USA

FAR EAST CUP (FEC)
CHN, IND, IRI, JPN, KAZ, KOR, MGL, PAK, RUS, PRK, TPE, UZB

SOUTH AMERICAN CUP (SAC)
ARG, BOL, BRA, CHI, COL, ECU, PER, URU, VEN

AUSTRALIA NEW ZEALAND CUP (ANC)
AUS, NZL

目次

コンチネンタルカップルール 1

セクションA: 全てのコンチネンタルカップへの適用ルール 1

1 総則 1

2 出場資格 1

2.1 基本出場枠 1
2.2 国別出場枠 1
2.2.1 一大会でのDH、SG、ACの出場枠 1
2.2.1.1 一大会でのGS、SLの出場枠 1
2.2.2 個人の参加資格 2
2.3 コンチネンタルカップの開催及び開催国 (*全てのカップについて) 2
2.4 コンチネンタルカップシリーズの優勝者 2
2.5 DHトレーニングのための追加選手 2
2.5.1 DHトレーニングの参加枠 (DHのみある場合) 2
2.5.2 DH及び、ACトレーニングの参加枠 2
2.6 エントリー申請 2
2.6.1 登録及びエントリー締め切り 2

3 スタート順 2

3.1 第1グループ(1 - 15) (*NAC) 2
3.1.1 スタート順の選択/ドロー 2
3.1.2 公開ドロー、手順及びソシアルプログラム 3
3.1.3 カップポイントの有効性(*EC/NAC) 3
3.1.4 ベーシックリストの有効性 3
3.2 第1グループ以降スタート順(*EC/NAC) 3
3.2.1 スペシャルグループ: 450 (EC) 400 (NAC, FEC) 200 (SAC, ANC) Cup points 3
3.2.2 各コンチネンタルカップ優勝者又は有資格者の31 番スタート 3
3.3 2本目のスタート順の変更 4
3.3.1 SL、GS及び、DHにおける2本目の制限 4
3.3.2 2本目のスタート順の変更 4
3.3.3 アルペンコンバインドの2本目のスタート順 4
3.4 リーダービブ 4

4 ポイント 5

4.1 スケジュール 5
4.2 複数の選手がタイになった場合 5
4.3 優勝者とのタイム差 5
4.4 コンチネンタルカップ最終戦(*EC) 5

5 順位及びコンチネンタル カップ 5

5.1 順位決定方式 5
5.1.1 リザルト数 5
5.1.2 種目別順位 5
5.1.3 総合順位 5
5.1.4 同位となった選手 5
5.2 男女共通 5
5.2.1 各コンチネンタルカップの優勝者 5
5.2.2 種目別優勝者 5
5.2.3 トロフィー 5
5.2.4 メダル 5
5.3 ネーションズカップ 6
5.4 ワールドカップの個人出場資格 6
5.4.1 各コンチネンタルカップの種目別順位からの出場資格獲得選手数 6
5.4.2 地理的必要条件(*FEC) 6
5.4.3 ワールドカップスタートリスト(WCSL)の上位20 位 6
5.4.4 3名とも同国の場合 (European Cup) 6
5.4.5 出場資格 6

5.4.6 FEC & ANC の滑降 7
5.4.7 競技数 7
6 ホモロゲーション 7
6.1 コンチネンタルカップでのトレーニング(*EC/NAC) 7
6.2 レースコースでのフリースキー 7
7 経費の支払い(*NAC, SAC, ANC) 7
7.1 有資格選手及びそのチームスタッフ(officials) (*SAC/ANC) 7
7.1.1 スタッフ(Officials) （サービスマンは除く） 7
7.1.2 コンチネンタルカップ優勝者C 7
7.2 追加選手及びそのスタッフ(*NAC) 7
7.3 滑降、スーパーG、アルペンコンバインド(*SAC/ANC) 8
7.4 費用支払期間 (*EC) 8
7.4.1 詳細 8
7.4.2 個人費用 8
7.4.3 到着/出発 8
7.5 宿泊の権利(*EC) 8
8 カレンダー及び計画 8
8.1 休息期間 8
8.2 他レースの追加 9
8.3 代替競技 9
8.3.1 不可抗力による中止 9
8.3.2 費用の支払い 9
8.3.3 別レースへの干渉 9
8.3.4 他国での開催 9
8.4 各コンチネンタルカップ最終戦の開催地 9
9 アルペンコンバインド 9
9.1 出場枠 9
9.2 FISポイント 9
9.3 カップポイント 9
9.4 スタート順 10
10 論争 10
各コンチネンタルカップ特別ルール 11
Section B: EC - ヨーロッパカップ 11
EC.2.3 最大出表枠 11
EC.2.3.1 開催国 11
EC.2.3.2 EC地域国に対するＤＨの出場枠 11
EC.2.3.2.1 EC地域国のＳＧ に対する出場枠 11
EC.3.1.3 カップポイントの有効性 11
EC.3.1.4 基本リストの有効性(ECSL) 11
EC.3.2.3. FISポイント上位30位のリスト 11
EC.4.4 EC最終戦 11
EC.4.4.1 出場枠 11
EC.4.4.2 出場資格 12
EC 4.4.3 EC最終戦のスタート順 12
EC.4.4.4 開催国 12
EC.6.1 ECコースでのトレーニング 12
EC.6.3 重要ではない変更 12
EC.7.4 費用支払期間 12
EC.7.4.4 シングルルーム 12
Section B: NAC - ノースアメリカンカップ 13
NAC.2.3 最大出力 13
NAC.2.3.1 開催国 13
NAC.2.3.1.1 NAC最終戦出場枠 13
NAC.2.3.3 他グループ加盟国に対する通常FIS出場枠 13

NAC.2.3.3.1 USA 及びカナダの滑降出場枠 13
NAC.2.4.2 無料のエントリーとリフトチケット 13

NAC.2.4.2.1 コンチネンタルカップ優勝者 13
NAC.2.4.3 エントリーフィー及びリフトチケット料金 13
NAC.2.4.4 払い戻し 13
NAC.2.4.5 コーチ及びトレーナーのクレデンシャル（資格認定証） 14
NAC.3.1 第1グループ（1 - 15) 14
NAC.3.1.3 カップポイントの有効性 14
NAC.3.2 第1グループ後のスタート 14
NAC.3.3.3 アルペンコンバインド2本目のスター順 14
NAC.6.1 NACにおけるトレーニングコース 14

NAC.7 経費の支払い 14

NAC.7.1 NAC選手 14
NAC.7.2 選手及び役員; CAN and USA 14

Section B: FEC - ファーイーストカップ 15

FEC.2.3 最大出場枠 15
FEC.2.3.1 主催国 15
FEC.2.3.3. 他グループ加盟国の通常FIS出場枠 15
FEC.2.3.5 エントリーフィーとリフト料金 15

Section B: SAC - 南米カップ 16

SAC.2.3 最大出場枠 16
SAC.2.3.1 開催国 16
SAC.2.3.3 他グループ加盟国の通常FIS出場枠 16
SAC.2.3.4 アフリカ大陸から参加する選手について 16
SAC.2.3.5 エントリーフィーとリフト料金 16

SAC.7 チームサポート 17

SAC.7.1 有資格選手とそのチームスタッフ 17
SAC.7.1.1 チームスタッフ(Officials) （サービスマンは除く） 17
SAC.7.2.1 ＤＨ、ＳＧ及びアルペンコンバインド 17

Section B: ANC - オーストラリア･ニュージーランドカップ 18

ANC.2.3 最大出場枠 18
ANC.2.3.1 開催国 18
ANC.2.3.3 他グループ加盟国の通常FIS出場枠 18
ANC.2.3.4 アフリカ大陸から参加する選手について 18
ANC.2.4.2.1 コンチネンタルカップ優勝者 18

ANC.7 チームサポート 18

ANC.7.1 有資格選手とそのチームスタッフ 18
ANC.7.1.1 チームスタッフ(Officials) （サービスマンは除く） 18
ANC.7.2.1 ＤＨ、ＳＧ及びアルペンコンバインド 18

コンチネンタル主催者の義務 19

A. 広報 19
A.1 大会名称 19
A.2 その他の広告 19
B.1 リザルトの配布 19
B.2 電子メール/ コンピュータ送信 19
C.1 公開ドロー 19
D.1 受賞 19
D.1.1 ヨーロッパカップの賞金 19
D.2 授与式 19
D.3 詳細 20
D.4 3位までの選手 20
D.5 優勝者 20
D.6 総合順位 20
D.7 賞の進呈 20

E. 輸送手段 20
E.11 登り坂輸送の利用 20
F. 経費の支払い/チームサポート 20
F.1 FIS コーディネーターへの経費 20
G. 宿泊施設 20
G.1 宿泊 20
G.2 食事及び飲料 20
G.3 食事時間 20
H. スキールーム 21
I. ウォームアップコース / 前走 21
I.1 ウォームアップコース 21
I.2 前走 21
J. 技術的詳細 21
J.1 レースコース上のスノーコンディションに関する大会前の処置 21
J.2 レスキューサービス 21
J.3 中間タイム 21
J.4 ビデオコントロール 21
J.5 ウォーターインジェクションビーム（水噴射ビーム） 21
K. アクレディテーション/ アームバンド 21

L. 総則 21

Rules for the Alpine FIS Continental Cups - Edition 2018 /19

CONTINENTAL CUP RULES

セクションA：コンチネンタルカップ総則

セクションAのルールは。五つのコンチネンタルカップにおいて、共有するルールとして定義する。

セクションAの中で、（＊）が付いた条文はセクションBにおいて、関係するコンチネンタルカップに限定して適用される。

1 総則

コンチネンタルカップシリーズの大会は全て国際スキー連盟（ＩＣＲ及び、ＣＯＣ：セクションA）、コンチネンタルカップ委員会、各国スキー連盟(カップルール：セクションB)の規則のもと開催される。ルール変更は、シーズン開始（6 月1 日）前までに春季会議でのみ行うことができる。

2 出場資格

出場資格基準
アルペンスキー委員会との合意の後、それぞれのシーズン前までに出場資格基準や出場枠を決定する。シーズン中に修正してはならない。

2.1 基本出場枠（Basic Quota）

有効なFIS ポイントリストで、選手のFIS ポイントが下記に該当する種目で、FISポイント120点以内の場合、各国２名、DHにおいては3名の基本出場枠資格が与えられる。（SAC, ANCでは、SL、又はGSで１４０点のFIS ポイント、SGとDH、又はACでは、160点のFISポイント以内とする）
競技種目毎の出場評価は次の種目ポイントリストから；

- SLとGSにおいては、5種目いずれかのFISポイントリスト
- DHとAC（DHを伴う）：DH、又はSGのFISポイントリスト
- SGとAC（SGを伴う）：DH、SG、又はGSのＦＩＳポイントリスト

2.2 国別出場枠(National Quota)

開催国の追加出場枠は、関係種目で、ＦＩＳポイントリストの上位１００位にランクしている選手の人数で決定する。
（SAC とANCにおいては、 7月発行のＦＩＳポイントリスト）

上記条件に基づく各加盟国連盟の出場選手数：　（有資格者＝100位以内の選手数）

有資格者数０人（０＋２）＝　２エントリー
有資格者数１人（１＋２）＝　３エントリー
有資格者数２人（２＋２）＝　４エントリー
有資格者数３人（３＋２）＝　５エントリー
有資格者数４人（４＋２）＝　６エントリー
有資格者数５人（５＋２）＝　７エントリー
有資格者数６人（６＋２）＝　８エントリー
有資格者数７人（７＋２）＝　９エントリー
有資格者数８人（８＋２）＝１０エントリー

2.2.1 *一大会でのDH、SG、ACの出場枠*

DH、SG及び、ACを一つの大会で開催する場合、DH、又はSGの内、各国の多い方の出場枠を三種目、全てで有効とする。

これは、コンチネンタルカップ種目の勝者の追加スタート出場枠にも有効である。

2.2.1.1 *一大会でのＧＳ、ＳＬ の出場枠　（ＥＣ）*

ＧＳ 及び、ＳＬを一つの大会で開催する場合、ＧＳ、又は、ＳＬの内、各国の多い方の出場枠を三種目、全てで有効とする。

これは、コンチネンタルカップ種目の勝者の追加スタート出場枠にも有効である。

2.2.2 *個人資格の条件*

コンチネンタルカップレースに出場するためには、基本出場枠を除く全ての競技者は、一種目のみ行われる場合、当該種目で有効FIS ポイントリストの上位350 位に入っていなければならない。
或るいは、次のように大会の種目のうち一つで350 位以内でなければならない。

- DH／SG／AC、SG／GS／AC、SL／GS

2.3 **コンチネンタルカップの開催及び開催国 (*全てのカップについて)**

コンチネンタルカップを開催すると、開催するコンチネンタルカップで出場枠を拡大することができる。その場合、2.2.1 の個人出場資格を考慮する必要は無い。ただし通常のFIS レース出場枠を超過するものではない。

2.4 コンチネンタルカップシリーズの優勝者

優勝選手の所属国には、翌シーズンの同じコンチネンタルカップの当該種目において、スタート出場枠を１名追加できる。

2.5 **DHトレーニングのための追加選手**

2.5.1 DHトレーニングの参加枠（DHのみある場合）

7 名までの有資格選手チーム(国別出場枠 5 名／基本出場枠 2 名)については、2 名の選手を追加的に公式DHトレーニングへの参加を認める。8～15 名のチームについては(国別出場枠 6～13 名／基本出場枠 2 名)、DHトレーニング参加のため3 名の追加選手を認める。トレーニングのための追加選手は、2.1 に従い、最低限の出場資格を満たしていなければならない。

2.5.2 *DH及び、ACトレーニングの参加枠*

DH及び、ACが同一会場で行われる場合、トレーニングに参加する選手数は最大出場枠（基本出場枠+国別出場枠＋トレーニングのための追加選手）に50%を足し、COC優勝者を足した数を超えない。

2.6 **エントリー申請**

2.6.1 *登録及びエントリー締め切り*

全てのエントリー申請は、最初のレース又は、DHの場合は公式トレーニングの少なくとも1 週間前に各組織委員会又は、各国連盟(FIS カレンダーに記載された通り)に送付しなければならない。

本規則に従いエントリー申請が行われなかった場合、宿泊費用を受け取る権利はない。

3 スタート順

3.1 **第一グループ(1～15)(*NAC)**

選手のカップポイントをもとに第一グループ (1～15)を決定する。7 位（SL／GS）又は、15 位(全種目)に同ポイントの選手がいる場合、第一グループの枠を適宜拡張する。

カップポイントを持つ選手が15 名未満の場合、各カップポイントを持つ選手のみで、第一グループを構成する。

3.1.1 *スタート番号／ドローの選択*

GS／SL 第一グループ (1～15)

第一グループは(1～7) と(8～15)に分ける。スタート番号は各グループ内でダブルドロー方式でドローする。

DH／SG／AC 第一グループ (1～15)

第一グループの選手及びスペシャルグループ(3.2.1 参照)の選手が1－30のうち各自のスタート番号を選択する。残った番号を上位30 位以内の選手でドローする。

3.1.2 *公開ドロー、手順及びソシアルプログラム*

DH／SG スタート番号の公開選択／ドローに欠席した選手がいる場合、その選手は残りの番号でドローを行う。ドローをしなかった選手が1 名のみならば、その選手は残り1 つの番号を受け取る。

SL／GSでは、大きい番号順(例えば15, 14, ...といったぐあい)にドローし、ドローをしていない選手が1 名のみならば、選手は一番大きい番号（15）を受け取る。

非公開ドローではチームキャプテンが選手のスタート番号を選択してもよい。
（DH／SG）

3.1.3 *カップポイントの有効性（＊EC／NAC）*

各カップの最終種目別ランキングは、翌シーズンにレース結果として使用する。（第3.1.3 条参照）

ランク 1 位は100 ポイント、30 位は1 ポイントを獲得する。このランキングはシーズン最初のレースの最初の30 名を決定する。第一レースに関して、ベーシックリストが30 名に満たない場合、前シーズンの最終種目別順位に基づいて穴を埋める。

第一レース以降獲得した各種目のカップポイントはベーシックリストに加えられ、新しい順位を決定するために使用する。

総合 450 ポイントより多いポイントを有する選手は、EC 種目別ポイントに従い、第一グループの後に登録される。

3.1.4 *ベーシックリストの有効性*

現行シーズンの該当種目の第二レース（EC, FEC, SAC, ANC）、第三レース（NACのGSとSL）後にベーシックリストを削除する。NACのDH、SG、そしてACでは、ベーシックリストを削除する前に２レースのみで使用する。現行シーズンのカップポイントのみ計算の対象となる。
ヨーロッパカップ（EC）：EC 3.1.3とEC 3.1.4を参照

3.2 第一グループ以降のスタート順 (*EC／NAC)

第一グループの後、選手は3.2.1（400／200 カップポイント）に従い、FIS ポイントリストの上位30 位以内の選手に続いてスタートする。続く15 名の選手は、上記2 つのグループのいずれにも入っていない場合、EC種目別順位に従いスタートする。最後に、450 ポイントを有する選手などEC種目別順位の選手30 名が考慮される。

スーパーコンバインドにおいて、最初の30 名の選手が、ACのカップポイントあるいは、FIS ポイントをもっていない場合は、選手は、ACで開催される種目によって、SGとDHのいずれかのFIS ポイントにしたがって、考慮される。

30 名以降の選手で、ACのFIS ポイントをもっていない選手にも、同様の措置が取られる。

3.2.1 *スペシャルグループ： 450 (EC) 400(NAC, FEC) 200 (SAC, ANC)カップポイント*

コンチネンタルカップの過去のシーズン又は、現シーズンの総合順位で450点（EC）、４００点（NAC、FEC）、200点（ANC、SAC）以上のカップポイントを持つ選手は、そのカップに限り、全ての種目で16 番目にスタートすることができる。ただし、15 番以内にスタートする権利を持たない場合に限る。カップポイントが450点（EC）、400点（NAC、FEC）、200点 （SAC、ANC）に達した選手が複数いる場合、該当種目のカップポイント順に、或いは、カップポイントを持たない場合は、FIS ポイントの順でスタートする。
負傷によりこの機会を利用できない場合、選手は翌シーズン最初の3 レースに使用することができる。これは種目に関係なく3回までのスタートに有効である。

3.2.2 *各コンチネンタルカップ優勝者又は有資格者の31 番スタート*

前シーズンでのコンチネンタルカップ種目別優勝者（南半球は同シーズン）又は、各コンチネンタル（勝者と同じトータルポイント、又は各コンチネンタルカップの勝者を含む）で、上位に入った選手は、FIS ウェブサイトの別リストに名前を記載される。

該当選手は、30 位以内に入っていない場合、他の全てのコンチネンタルカップで31 番目にスタートする権利がある。この基準に当てはまる選手が複数いる場合、当該種目でのカップポイント順にスタートし、選手がカップポイントを持たない場合はFISポイントの順にスタートする。この権利は当該種目でのみ有効となる。

3.3 SL、GS、AC及び、DHにおける二本目

3.3.1 *SL、GS及び、DHにおける二本目の制限*

一本目を完走した選手のうち、上位60 名のみ二本目に出場することができる。

3.3.2 *二本目のスタート順の変更*

一本目のスタートの一時間前までにジュリーは、一本目の上位15 名を逆順にするか、上位30 名を逆順にするか決定する。

3.3.3 *スーパーコンバインドの二本目のスタート順*

一本目を終えた選手はすべて二本目のランをスタートする権利をもつ。

二本目のスタートリストが出来上がった後（上位30 名に変動がない場合）、一本目の上位30名が逆順にスタートし、それに続く順位の選手は一本目のタイムにしたがって順番にスタートする。（31位、32位、etc）

3.4 リーダービブ

各コンチネンタルカップでの首位選手、又は各種目の最上位選手及び、現在の総合首位選手は、リーダービブを着用する。シーズン最初のレースでは、前シーズンの優勝選手が、第２レースでは第一レースの１位選手が、第３レース及び、それ以降はシリーズ中のコンチネンタルカップランキングの首位選手が着用する。

4 ポイント

4.1 得点表

上位 30 位の選手は以下の表に従いポイント（順位得点）を与えられる。

1位	100点、	16位	15点
2位	80点、	17位	14点
3位	60点、	18位	13点
4位	50点、	19位	12点
5位	45点、	20位	11点
6位	40点、	21位	10点
7位	36点、	22位	9点
8位	32点、	23位	8点
9位	29点、	24位	7点
10位	26点、	25位	6点
11位	24点、	26位	5点
12位	22点、	27位	4点
13位	20点、	28位	3点

14位　18点、　29位　2点
15位　16点、　30位　1点

4.2 複数の選手がタイになった場合

複数の選手がポイントスコアでタイになった場合、前項第4.1に明記されているように、各同順位選手は、その順位相応のポイントを獲得する。後に続く選手は、レースの公式順位に該当するポイントが与えられる。

4.3 優勝者タイムとのタイム差

選手の総合タイムが、優勝記録より8%より遅い（more than 8%）場合、順位に関係なくポイントは与えられない。

4.4 コンチネンタルカップファイナル（最終戦）　(*EC)

5 順位及びコンチネンタル カップ優勝者

5.1 順位決定方式

個人の総合順位及び種目別順位の決定方式（計算式）は、各シーズン前に決定される。いかなる場合でも、シーズン中に方式を修正しない。

5.1.1 *リザルトの数*

順位計算式は、シーズン全体又は特定期間中の順位決定に使用されたリザルト数で構成する。

5.1.2 *種目別順位*

種目別の順位（男子及び女子）については、各5種目で選手が獲得した全リザルト（カップポイント）をカウントする。

5.1.3 *総合順位*

総合順位は、選手が獲得した全リザルト(滑降、回転、大回転、スーパーG、及びスーパーコンバインド)をカウントする。

5.1.4 *同位となった選手*

もし、全大会終了後、総合順位の上位六（６）位以内で複数の選手が同位となった場合、又は、もし、種目別順位で複数の選手が同ポイントを獲得した場合、1 位をとった数、次に2 位をとった数、3 位をとった数等々に従い順位を決定する。

この方法で順位決定できない場合、選手は順位相応のメダルを授与される。

5.2 男女共通

得点システムは男女共通とする。

5.2.1 *各コンチネンタルカップでの優勝者*

総合優勝選手は、「（各）コンチネンタルカップの優勝者」の称号が与えられる。

5.2.2 *種目別優勝者*

種目別優勝選手は「各コンチネンタルカップでのDH、SL、GS、SG、ACの優勝者」の称号が与えられる。

5.2.3 *トロフィー*

総合順位及び種目別順位の優勝者は各コンチネンタルカップが授与される。

5.2.4 *メダル*

総合順位及び各種目別順位の上位3 選手はメダルが授与される。

5.3 ネーションズカップ

もし、ネーションズカップを表彰する場合、シーズン中の男女及びチーム競技を含む５種目の合計ポイントが最も高い国に授与される。

5.4 ワールドカップの個人出場資格

各コンチネンタルカップの総合優勝者及び、各コンチネンタルカップの当該シーズンの各種目最高順位選手は、勝利後のシーズンに開催されるワールドカップの該当種目に出場する権利がある。ただし、ワールドカップファイナルは例外とする。

もし、当該コンチネンタルカップの総合優勝者が各種目において出走権を有している場合は、加盟国連盟は、追加又は、代理出走権の申請することはできない。

当該コンチネンタルカップでスピート系種目が開催された場合のみ、総合優勝者はこの個人出場資格を得る。南半球も同じシーズンとなる。有効リストはＦＩＳのウェブサイト上で発表する。

5.4.1 *各コンチネンタルカップの種目別順位からの出場資格獲得選手数*

ヨーロッパカップ： 3名
北米カップ： 2名
ファーイーストカップ： 1名
南米カップ： 1名
オーストラリアニュージーランドカップ： 1名

5.4.2 地理的必要条件　（＊ＦＥＣ）

選手が所属する連盟が加盟している地理学上の地域でのコンチネンタルカップを通じてのみ、選手はワールドカップへの出場資格を認められる。優勝者またはワールドカップ出場資格を獲得できる順位にいる選手が他の地域出身の選手である場合、該当コンチネンタルカップの選手のうち、最上位の選手に個人出場枠が与えられる。

（ＦＥＣ＊）ロシアの選手は、ワールドカップの資格取得順位を得てもＦＥＣのメンバーの対象外とする。

5.4.3 *ワールドカップスタートリスト(WCSL)の上位20 位*

すでに来シーズンWCSL の上位20 位にランクしている選手は考慮に入れない。

5.4.4 *3 名とも同国の場合（ＥＣ、ヨーロッパカップのみ）*

1種目で、3名の選手の出身国が同じ場合、コンチネンタルカップ総合優勝者を1ワールドカップへの出走権対象外とする。これは、もし、3位に2名以上の同一国選手がいる場合も適用する。

5.4.4.1 *２名とも同国の場合（ＮＡＣ、北米カップのみ）*

1種目で、２名の選手の出身国が同じ場合、コンチネンタルカップ総合優勝者を1ワールドカップへの出走権対象外とする。これは、もし、２位に2名以上の同一国選手がいる場合も適用する。

5.4.4.2 *２名とも同国の場合（ＦＥＣ、ＮＡＣ、北米カップのみ）*

その種目の１位が２名以上、同一出身国の場合、当該種目のどのワールドカップへも1名のみ、出走できるものとする。コンチネンタルカップ総合優勝者は除外する。

5.4.5 *出場資格*

ワールドカップに出場するためには、5.4.1 により選ばれた選手は、該当種目の有効FIS ポイントリストの上位350 位にランクしていなければならない。

5.4.6 *FEC 及びANC 滑降*

オーストラリアニュージーランドコンチネンタルカップ及びファーイーストコンチネンタルカップの滑降シリーズは、他のコンチネンタルカップシリーズの順位に基づき行われる。各競技シーズンの開始前にどのCOC シリーズ以内に出場資格に至るのかを決めなければならない。

5.4.7 *競技数*

5.4 に従い、ワールドカップ個人出場資格に有効なコンチネンタルカップシリーズについて、最低でも各種目で2 つの有効なリザルトを収めなければならない。スーパーコンバインドにおいては、少なくとも2回出場し1 つのリザルトを収めなければならない。

6 コース公認

全ての競技は公認コースで実施しなければならない。主催者は、アルペンFIS コンチネンタルカップに選んだコースが公認されていることを明示的に確認する。

コース及びフィニッシュエリアは、FIS コンチネンタルカップに定められる基準を満たしていなければならない。また、コンチネンタルカップのコースの基本的な準備のため、十分な数の人工降雪機を保証しなければならない。

6.1 コンチネンタルカップでのトレーニング(*EC／NAC)

コンチネンタルカップレースで使用するコースでのトレーニングが可能な場合、エントリーした全ての選手が利用できるようにし、限定しない。

6.2 レースヒルでのフリースキー

スーパーG、大回転及び回転レースの前日にレースヒルでのフリースキーが計画された場合、各コンチネンタルカップカレンダーは全選手の参加を許可しなければならない。

7 経費の支払い(*NAC, SAC, ANC)

有資格選手のいるチームは下記の通り主催者から食費及び宿泊費を支払われる。

7.1 選手及び有資格選手の役員 (*SAC／ANC)

7.1.1 に準ずる役員及びレースを実際にスタートし、FIS ポイントリストで該当種目の上位75 位に入った選手には100%支払われる。

7.1.1 *役員（サービスマンは除く）*

1 – 2 名の有資格*選手のいるチーム： = 1 名

3 – 5 名の有資格*選手のいるチーム： = 2 名

6 – 10 名の有資格*選手のいるチーム： = 3 名

*「有資格」：費用の払い戻しを受ける資格のある選手

7.1.2 *コンチネンタルカップ優勝者*

費用が支払われる種目では、コンチネンタルカップ種目の優勝者又は有資格選手に対する食費及び宿泊費は、たとえその選手が有効FIS ポイントリスト（付属書類3.2.2）の上位75 位に入っていなくても、7.4 に従い支払われる。ただし、役員はこれに含まれない。

7.2 追加選手及び役員(*NAC)

上記の資格を持たない追加選手、及び前述の出場枠に従い費用支払いを受けられない追加のチーム役員、及び公式参加のチームサービスマンに対して、宿泊及び食事に対する請求の最高金額は一日90CHF（スイスフラン）又は大会期間に見合った額とする。これは技術系種目第一レース前のトレーニング一日分を含む。これは最高金額であり、ホテルの通常料金がこれより低い場合、通常料金のみを請求することができる。

7.3 滑降及びスーパーG

滑降及びスーパーG のレースについていかなる食費、宿泊費も、選手及び役員に対し組織委員会は支払わない。7.2 適用：選手や役員及び公式参加のチームサービスマンの食事、宿泊に対する最高請求金額は一日90CHF（スイスフラン）か、相当額とする。

7.4 費用支払い期間(*EC)

宿泊及び食事に対する費用は競技初日前日の夕食から最終競技日の昼食まで支払わなければならない。

組織委員会又はホテルマネージャーは、競技当日チームのレース後2 時間以内は部屋を空室にするよう要求できない。あるいは、少なくともレース後に更衣室及びシャワールームが使用できなければならない。

7.4.1 *詳細*

技術系１種目= １ 日, １ 泊

技術系２種目= ２ 日, ２ 泊

技術系３種目= ３ 日, ３ 泊

技術系４種目= ４ 日, ４ 泊

7.4.2 *個人費用*

各チームは(飲物代、電話代など)個人的な費用については、出発前直接ホテルに支払わなければならない。

チェックインの際要請があれば、ホテル及び宿泊施設にクレジットカード又は手付金などより、事前のクレジットが必要である。

7.4.3 *発着*

早く着いた場合(1 夜)又は出発が遅れた場合 (1 夜)、部屋及び食事に対する最高請求金額は一日90CHF（スイスフラン）もしくはそれ相応とする。

7.5 宿泊の権利（＊ＥＣ）

各国連盟は、最初のチームキャプテンミーティングの30日前まで正式な到着日の5日前までにチームの構成員数（選手、コーチ、同行者及びサービスマン）を主催者に伝えなければならない。更に、公式な到着日（official arrival day）の遅くとも5日前までに、チームの構成員の名前、到着日の変更、チームサイズの変更、辞退を主催者に伝えなければならない。もし、これらを怠った場合、組織委員会は宿泊施設のキャンセルにより生じた費用の請求を各国連盟に対して行う。

ホテル予約は組織委員会を通じてのみ可能であり、組織委員会との合意に至った場合のみ個々に予約することができる。

8 カレンダー及び計画

各コンチネンタルカップシリーズは、FIS ポイントルールに定められた評価期間に従い毎年計画される。
南半球：7 月1 日 - 9 月30 日、北半球：11 月15 日 - 4 月15 日。中止したコンチネンタルカップレースを各コンチネンタルカップファイナル以降に予定することはできない。

カレンダー計画

各競技シーズンのカレンダー計画は可能であれば、遅くとも１シーズン前までにコンチネンタルカップカレンダー計画の総則に従い該当コンチネンタルカップ委員会が決定する。関係各国は、具体的な会場を提案し、各コンチネンタルカップ委員会の認定を受ける

8.1 休息期間

各コンチネンタルカップの小委員会は、少なくとも15 日の休息期間を含むカレンダーを作成する。

8.2 他レースの追加

コンチネンタルカップ大会の主催者は、国際スキーカレンダーに記載の無いFIS レースをプログラムに追加してはいけない。いかなる事情があれ、このような追加レースがコンチネンタルカッププログラムを混乱させるようなことがあってはならない。

8.3 代替競技

8.3.1 *不可抗力による中止*

「不可抗力」によりレースを中止しなければならない場合、同一種目の代替レースを別地で開催してもよい。当該レースを主催する加盟国連盟は中止を決定する日から１０日以内に代替えレースの日程、開催地を確認しなければならない。他国での開催もできる。変更には、各コンチネンタルカップ小委員会長又はその指名人による承認を得なければならない。このような代替レースには、他のFIS レースに追加してはいけない。

8.3.2 *費用の支払い*

別地で代替レースを開催する場合、主催者による支払いは：

7.1.1 に準ずる役員及び、実際にレースをスタートし、該当種目の有効ＦＩＳポイントリストの上位75位以内の選手には、Full Board（１泊３食）の５０％

8.3.3 *別のレースとの干渉*

代替レースは、各コンチネンタルカップカレンダーに最初から組み込まれている別のレース日程に干渉をきたすことがあってはならない。

8.3.4 *他国での開催*

代替レースが、当初の予定とは異なる国で開催される場合、実際の開催国は、セクションB2.3 に準ずる開催国追加出場権を持つことができる。

8.4 各コンチネンタルカップファイナルの開催地

各コンチネンタルカップファイナルの最終戦は、提出された提案に基づき雪の状態を考慮に入れて交代制を基準として該当小委員会が決定する。

9 スーパーコンバインド

スーパーコンバインドでは、滑降またはスーパーGと、回転1 回を行う。

9.1 出場枠

各国はスーパーコンバインドの最大出場枠をもつ。開催国には追加出場枠が認められる。スーパーコンバインドの出場枠をもたない場合、滑降またはスーパーGの出場枠が適用される。適用される出場枠は、開催される組み合わせによる（滑降と回転か、スーパーGと回転）。

9.2 FISポイント

北米カップとヨーロッパカップにおいては、1回目及び2回目の両方をゴールすることで、スピード系種目（滑降或いはSG）のFISポイントが付与される。

9.3 カップポイント

スーパーコンバインド（滑降と回転、またはスーパーGと回転）のリザルトは、スーパーコンバインドとカ
ップ総合順位に反映される（4.1 のポイントに準ずる）。

9.4 スタート順

9.4.1 シーズン最初のコンバインドでは、滑降または大回転、と回転のスタート順はそれぞれ3.1.1 に従って決定する。

9.4.2 一本目を完走した選手が二本目をスタートする権利をもつ。

9.4.3 二本目のスタートリストを整理した後（上位30 名が変動しない場合）、一本目の上位30 名の選手は、一本目のランのリザルトと逆の順にスタートする。残りの選手は、一本目のリザルト順にスタートする。（31 位、32 位、など）2滑降または大回転それぞれで二本目の回転のスタート順は、チームがスタートリストを修正した後（大回転、または滑降を終え、回転に出場していない選手は棄権しなければならない）、一本目のラン（滑降、大回転または回転）のリザルトと逆になる。

一本目を完走した選手が二本目をスタートする権利をもつ。

10 論争

競技中に生じたあらゆる論争で、現行ルールで解決できない問題は、該当競技のTD（技術代表）が競技に出席しているコンチネンタルカップ委員を召集し、合同して多数決による決定を行う。この決定は該当コンチネンタルカップの次回会議で承認を得るため提出しなければならない。委員が一人も出席していない場合、各委員長、副委員長及び／又はコンチネンタルカップコーディネーターと協議する。

各コンチネンタルカップ特別規則

セクション***B: EC***（ヨーロピアンカップ）

EC.2.3 *最大出場枠*

EC2.3.1 *開催国*

開催国は通常出場枠を以下のとおり拡張することができる。

開催国はいかなる場合でも最低10 選手の出場枠を持つ。

	女子	*男子*
DH／SG	4倍	3倍
SG／AC	3倍	3倍
SL／GS	2倍	2倍

SL及び、GS：

追加選手は、4 種目のうち最低1 種目はFIS ポイントリストで上位500 位にランクしていなければならない。

DH、SG 及び AC：

開催国は、基本出場枠（2.1 参照）に従い、6 名までの選手をエントリーできる。
追加選手は、DH、SG 又は、GSのＦＩＳポイントリストにおいて、上位 500 位にランクしていなければならない。

EC2.3.2 *ヨーロッパカップ地域国に対するDHの出場枠*

ヨーロッパカップ地域国は、（下記に従い）最大出場枠をもつ権利がある。これらはコンチネンタルカップ出場枠リストで発表される。追加選手は、ＤＨ、又はＳＧのＦＩＳポイントリストで上位500 位にランクしていなければならない。

女子 15 スタート順まで

男子 12 スタート順まで

EC.2.3.2.1 *ヨーロッパカップ地域国のSG に対する出場枠*

ヨーロッパカップ地域国は、（下記に従い）最大出場枠をもつ権利がある。これらはコンチネンタルカップ出場枠リストで発表される。追加選手は、ＤＨ、又はＳＧのＦＩＳポイントリストで上位500 位にランクしていなければならない。

女子 15 スタート順まで

男子 12 スタート順まで

EC.3.1.3 *カップポイントの有効性*

第3.1.4条による各カップの最終目別ランキングは次のシーズンに有効である。これは最初のレースに適用される。それぞれの種目の第一レースで取得したカップポイントは、前シーズンから引き継いでいるポイントに加算される。もし、選手が怪我の為に10月15日から4月15日までの間に開催された競技会で出走していない場合、加盟国連盟は翌シーズンに向けてECSLの負傷者ステータス認定を申請できる：4月30日までに申請を送る。もし、負傷者ステータスが認定された場合、その競技者は、翌シーズンの夫々のイベント(種別）のECSLに加えられる。（直前シーズンで成し得た最終順位）

EC.3.1.4 *基本リスト（ベイシックリスト：Basic List)*

それぞれのECポイントの合算値は、技術系は4、スピード系は3、そして、ACは2で割る。これでポイントが算出されるが、各レースが終了後に削除される。

EC最終戦では、その現行シーズンで取得されたポイントのみが有効である。

EC.3.1.5 *パラレル種目*

パラレル種目で得られたポイントは、当該種目のECSL（ヨーロッパカップスターとリスト）にはカウントされない。これらのポイントは、ヨーロッパカップファイナルに先立ち加算され、当該種目の最終成績が決定される。

EC.3.2.3. **ＦＩＳポイントリストの上位30 位**

各種目で有効ＦＩＳポイントリストの上位30 位にランクしている選手は第一グループ及びスペシャルグループの後でスタートしてもよい。(3.2.1 参照)そのような選手が複数いる場合、該当種目のカップポイントの順にスタートし、カップポイントを持たない場合はFIS ポイントの順でスタートする。

EC.4.4 **ヨーロッパカップファイナル**

EC.4.4.1 *出場枠*

各国は、有効な出場枠によって参加資格を有する。ＤＨ，ＳＧ，そしてＡＣ（又は、ＧＳ，ＳＬ）が一会場で開催される場合、参加対象国のＤＨ，ＳＧ，そしてＡＣの高い出場枠を全3種目（又はＧＳとＳＬの開催の場合、全二種目）に適用さるれる。

EC.4.4.2 *出場資格*

2．1 に準ずる基本出場枠の条件は継続して適用する。国別出場枠内の追加選手は、各種目のヨーロッパカップポイント総合ランキング45位以内（ＡＣは、30位以内）でなければならない。繰り上げ、又は、交代は認めない。更に、現行シーズンの特別グループ（ＥＣポイント４５０点選手）もスタート権を有する。最初のＴＣＭ前の段階で、ＷＣＳＬ上位30位もその種目においての出走権を有する。この最後のグループの選手らは、上位45位（ＡＣは上位30位）に数えられなくてもファイナル（最終戦）への資格を有せる。

EC 4.4.3 *ＥＣファイナル（最終戦）でのスタート順*

ＧＳ ／ ＳＬ

第一グループ（ビブ１～１５）を二つに分ける：（1～7）（8～１５）。スタート順番は、これらのグループ毎にダブルドローで抽出される。
第一グループ以後は次の順にスタート順番を決める：

- ＥＣポイント、450点以上の選手
- その時点のＷＣＳＬポイントランキング30位までの選手

その他の選手は、ＥＣスタンディングリスト（Standing List）、ECポイントを有しない選手は最後にＦＩＳポイント順にてスタートする。

ＤＨ ／ ＳＧ ／ ＡＣ

第一グループと特別グループ（４５０ＥＣポイント、又は、それ以上の現行シーズンのＥＣポイント）は、ビブ１～３０番までのスタート番号を選択する。最初のチーム代表者会議（ＴＣＭ）までにＷＣＳＬポイント上位30位の選手と残りの上位30位までの選手らも１～30番までのスター順を選択する。

上記以外の選手は、ＥＣポイントスタンディングリスト、ＥＣポイントを有しない選手はＦＩＳポイント順に続けてスタートする。

ＡＣにおいて、上位30位の選手がＥＣポイントを持っていない場合、ＳＧ（又はＤＨ）のＥＣポイントを考慮する。（スピード系種目の実施種目で適用ＥＣポイントを決める）

EC.4.4.4 *開催国*

開催国は、2.2 に準じてＳＬ／ＧＳにおいて、通常のヨーロッパカップ出場枠に加えて5名の追加選手枠を受ける資格がある。5名の追加選手は、2.2.2 に準じた有資格選手でなければならない。滑降／スーパーG については、EC.2.3.1 の出場枠を適用する。（シーズン中と同じ条件）

EC.6.1 ヨーロッパカップコースでのトレーニング

種目やコースに関わらず、公式トレーニング又は最初の競技の開始前2 日間のヨーロッパカップコースでのトレーニングは許可しない。本ルールに従わない場合、失格処分又は出場停止とする。

EC.6.3 必要不可欠ではない変更について

ゲートを少し取り除くといった、必須ではないものの必要なコース変更が緊急的に行なわれた場合、追加的な調査やトレーニングランは必要ない。詳細についてはチームキャプテン全員と連絡を取らなければいけない。選手は全員スタートの前にレフェリーから知らせを受けなければいけない。

EC.7.4 *費用支払い期間*

宿泊及び食事に対する費用は、競技初日前日の夕食から最終競技日の昼食まで支払わなければならない（夜間や夕方の大会の場合は、競技前の昼食から競技翌日の朝食まで）。

組織委員会又はホテルマネージャーは、競技当日、チームのレース後2 時間以内は部屋を空けるよう要求できない。あるいは、以下に従いレース後少なくとも部屋及びシャワールームが使用できなければならない：

選手 4 名以下のチーム： 1部屋*とシャワー

選手 5 名以上のチーム： 2部屋*とシャワー

選手 8 名以上のチーム： 3部屋*とシャワー

*部屋は、チームが既に使用したホテルの部屋のいずれかとする。

EC.7.4.4 *シングルルーム*

チームごとのシングルルームの割り当ては下表に従う：

選手 1～ 4 名： シングルルーム 1 部屋

選手 5～10 名： シングルルーム 2 部屋

選手 11名以上： シングルルーム 3 部屋

セクションB:NAC(北米カップ)

NAC.2.3 *最大出場枠*

カナダ及びUSA は、他国で開催される各レースで30 名(男子30 名及び女子30 名)までの選手をエントリーできる。全選手は有効なFIS コードを所持していなければならない。

NAC.2.3.1 **開催国**

開催国は、基本出場枠として選手６０名をエントリーでき、加えて他方の国がそれを満たしていない場合、（USA で開催される場合カナダが、カナダで開催される場合はUSAが）６０名までの出場枠を満たせる。
国家間の事前承認により、開催国の持つ50 名の選手枠の一部を他方の国が使用することにまで拡張してもよい。ただし、USA 及びカナダに対する最高出場枠80 名を超過しないこと。全選手は有効なFISリストに掲載されていること。

NAC.2.3.1.1 *ＮＡＣファイナルのクオータ（ＮＡＣ最終戦の出場枠）*

カナダとＵＳＡは、ファイナル（最終戦）での全種目において、60名までエントリーできる。使用されない枠は、他国によって使用できるが、北米選手の総数は１２０＋１名を超えられない。

NAC.2.3.3 *参加国に対する通常FIS 出場枠*

開催国は、エントリー数及び条件を考慮の上、他地域からの国々に通常のFIS 出場枠までエントリーを
許可する権利を有する。全選手は下記の通り、有効FIS ポイントリストで上位1000 位にランクしていな
ければならない。

- 回転／大回転： 5種目のうちどれかにおいて
- 滑降: 滑降又はスーパーG において
- スーパーG: 滑降,スーパーG 又は大回転において
- スーパーコンバインド(滑降で行う場合):滑降又はスーパーG において
- スーパーコンバインド(スーパーG で行う場合):滑降,スーパーG 又は大回転において

NAC.2.3.3 を適用する開催国は、競技又は最初の公式トレーニングの少なくとも10 日前までに公式エ
ントリーフォームを添えて、文書で申請しなければならない。競技又は最初の公式トレーニングの5日
前までに組織委員会が決定する。

NAC.2.3.3.1 *USA 及びカナダの滑降出場枠*

各参加国、つまりカナダ及びUSA からそれぞれ男子20 名女子20 名が招待され、ナショナルチャンピ
オンシップ（国内選手権）と併せて開催される北米カップ滑降に参加する。これらの出場枠は北米カップ
の承認された出場枠に含む。

NAC.2.4.2 *無料のエントリーとリフトチケット*

ベニューで行なわれる種目のうち一つの予選を通過した選手には、コンチネンタルカップルールセクシ
ョンA の2.1 に定める基準に従い、無料のエントリーとリフトチケットが提供される；基本出場枠及び
2.2.2 に準じ資格を有する最高2 名の選手；各種目における国の有効なコンチネンタルカップ出場枠の
残り。その場合、大会の少なくとも1 種目で選手は上位350 にランクしている
北米の学校、クラブ又は大学に在籍している外国人選手は、「大会」の少なくとも1 種目でワールドラン
クの100 位に入っている場合、無料のリフトとエントリーを受ける資格がある。これは各コンチネンタル
カップ出場枠についてのみ有効である。

NAC.2.4.2.1 コンチネンタルカップ優勝者

別紙 3.2.2 にあるコンチネンタルカップ種目の優勝者は無料のエントリーとリフトチケットを受ける資格
がある。

NAC.2.4.3 エントリー費用及びリフト使用料

北米の生徒、カナダ及びアメリカのスキークラブ又はプログラムのメンバーのほか、USA 及びカナダを
代表する全選手に対し、エントリー費用及びリフトチケット代金が請求される。ただし、15A、B、C までの
グループやナショナル強化チームの選手は例外とする。費用は、最初のチームキャプテンミーティング
前から支払い可能となる。エントリー費用及びリフトチケット代金は全A、B、C 及びナショナル強化チ

NAC.2.4.4 払い戻し

予定されていた大会の変更又は負傷／疾病の場合、費用は払い戻しされる。

NAC.2.4.5 **コーチ及びトレーナーのクレデンシャル（資格認定証）**

レース組織委員会は、以下の記述に従い開催国の役員及びトレーナーに対し、資格承認証（リフトチケ
ット）を発行する義務がある

1 - 3 選手のチームは3 枚

4 - 5 選手のチームは6 枚

6 - 10 選手のチームは10 枚

NAC.3.1 *第一グループ（1-15）*

第一グループでNAC ポイントがタイの場合、選手は該当種目のFIS ポイントの順に並ぶ。FIS ポイント
もタイの場合、選手はドローで順番を決める。

NAC.3.1.3 *カップポイントの有効性*

総合 450 ポイントグループでタイの場合、選手は該当種目のNAC ポイントの順に並ぶ。NAC ポイントもタイの場合、選手は該当種目のFIS ポイントで順番を決める。

NAC.3.2 *第一グループ後のスタート順*

選手が 3.2.1（400 カップポイント）に従ってスタートする第一グループの後、FIS ポイントリストで上位30
位以内の選手が後に続いてスタートする。後続の選手（30 位以降）は、該当種目のFIS ポイントに従っ
て順番が決まる。該当種目のFIS ポイントがタイの場合、選手は該当種目のNAC ポイントで順番を決

NAC.3.3.3 *ＡＣ2本目のスタート順*

1本目を適正に終了している全選手は2本目の出走権を得る。

NAC.6.1 *北米コースのトレーニング*

公式トレーニング又は最初の競技の開始前2 日間は北米カップコースでのトレーニングは認められない。本ルールに従わない場合、失格処分又は出場停止とする。
北米レースに先立って行われる先行ワールドカップでは認められ、トレーニングとは見なされない。

NAC.7 **経費の支払**

NAC.7.1 *NAC 選手*

カナダ、USA出身の全選手、及び北米教育を受けている他国出身正規学生及びUS メンバー又はカナディアンスキープログラムのメンバーについて、ルール7.1 及び 7.1.1 は適用されない。

NAC.7.2 *選手及び役員: CAN 及びUSA*

北米選手、役員及び北米教育を受けている他国出身正規学生に加え、公式に認められた(公式エントリーフォームに載っている）チームサービススタッフについて、各チームから要請があれば開催者は、一日最高US$75（宿泊＋3食付きを手配又は提供しなくてはならない。

セクションB：FEC（ファーイーストカップ）

FEC.2.3 最大出場枠

日本、韓国、中国、そしてロシアは、自国以外の加盟国グループ内で開催するレースに３０名（女子３０名、男子３０名）までエントリーできる。アジアスキー連盟に加盟する国の選手は１０名までエントリーできる。すべての選手は有効なＦＩＳコードを所有していなければならない。

FEC.2.3.1 主催国

主催国には基本出場枠として、５０名をエントリーできる：加えて、他の主催国枠総数９０名の満たされない分を利用できる。（中国開催では、日本、韓国、ロシア；韓国開催では日本、中国、ロシア；ロシア開催では、日本、韓国、中国）

もし、主催国の出場枠が満たされない場合、他の競技会主催国が空いた出場枠を利用するれクエストをすることができる。この場合、当該レースの最初のＴＣＭ開催日の１０日前までに申請を受け受託し、５日前までに決定しなければならない。エントリー申請は、加盟国連盟の責任において行われる。

全ての選手は、ＦＩＳポイントを所有しているか？否かに関わらず、有効なＦＩＳコードを所有していなければならない。

FEC.2.3.3. 他グループ加盟国の通常FIS出場枠

主催国は、他国グループからのエントリーを基本出場枠までの範囲で受けることができる。すべての選手は以下の様に当該種目のランキングが上位１０００位以内でなければならない：

- ＳＬとＧＳは全種目共通
- ＤＨは、ＤＨとＳＧ
- ＳＧは、ＤＨとＳＧとＧＳ
- ＡＣ（ＤＨがスピード系種目）は、ＤＨ，ＳＧ
- ＡＣ（ＳＧがスピード系種目）は、ＤＨ，ＳＧ，ＧＳ

FEC.2.3.5 エントリーフィーとリフト料金

すべての競技者とチームオフィシャルは、エントリーフィーとリフト料を請求される場合がある。但し、各コンチネンタルカップ出場枠により、コンチネンタルカップルール、セクションＡの条項2.2.2において資格（そのイベント(種別）の適用FISポイントリストにおいて上位75位以内ランクされる者）を得た者は除外する

セクションB：SAC（南米カップ）

SAC.2.3 *最大出場枠*

各国 ARG-BOL-BRA-CHI は、他国で開催される大会に30 名(男子30 名及び女子30 名)までの選手をエントリーしてよい。全選手は有効な FIS コードを所持していなければならない。

- SL／GS：５種目のいずれかで出場資格がある
- ＤＨ：ＤＨ、又は、ＳＧで出場資格がある
- ＳＧ：ＤＨ、ＳＧ、ＧＳのいずれかで出場資格がある
- ＡＣ（ＤＨで行う場合）：:ＤＨ、又は、ＳＧで出場資格がある
- ＡＣ（ＳＧで行う場合）：ＤＨ、ＳＧ、ＧＳのいずれかで出場資格がある

如何なる場合でも、ＡＲＧ，ＢＯＬ，ＢＲＡ，ＣＨＩは基本出場枠6名（女子6名、男子6名）を有する。選手の出場条件としては、ＦＩＳポイントを有しているか否かに関わらず、有効なＦＩＳコードを有していること。レース主催国は、自国の選手出場枠を12名（女子12名、男子12名）まで、2倍することができる。

ＡＲＧ，ＢＯＬ，ＢＲＡ，ＣＨＩの選手で、ＦＩＳポイントを有せず、ＳＡＣポイントを有する場合は、ＳＡＣポイントによるスタート順で出走できる。これらの選手は、出場基本枠には含まない。特別クオータは、ＦＩＳポイントリストＮｏ．２の発行前のみ、有効である。

SAC.2.3.1 開催国

開催国は出場枠として50 名エントリーしてよく、加えて他の開催国(アルゼンチンで開催の場合はチリ、チリで開催の場合はアルゼンチン)の30 名に満たない分の権利を有する。全選手は、FIS コードを有しなければならず、（FIS ポイントを所有していなくても）出場できる。

SAC.2.3.3 参加国に対する通常 FIS 出場枠

開催国は、他地域の国々のエントリーを通常FIS 出場枠の2 倍まで許可する権利を有する。全選手は、下記に準じ、有効ＦＩＳポイントリストにランクされており、ＳＬとＧＳで、最大140ＦＩＳポイント、ＤＨとＳＧでは、最大160ＦＩＳポイントを所持していること。

- SL／GS：５種目のいずれかで出場資格がある
- ＤＨ：ＤＨ、又は、ＳＧで出場資格がある
- ＳＧ：ＤＨ、ＳＧ、ＧＳのいずれかで出場資格がある
- ＡＣ（ＤＨで行う場合）：:ＤＨ、又は、ＳＧで出場資格がある
- ＡＣ（ＳＧで行う場合）：ＤＨ、ＳＧ、ＧＳのいずれかで出場資格がある

SAC.2.3.3 を適用する開催国は書面で申請しなければならず、オフィシャルエントリーフォームを添え、競技又は最初の公式トレーニングの少なくとも10 日前までに提出しなければならない。競技又は最初の公式トレーニングの5 日前までに組織委員会が決定を下す。

SAC.2.3.4 アフリカ大陸から参加する選手について

アフリカ大陸から出場する選手は、南米選手と同様の資格を与えられ、南米カップ（SAC）に出場することができる。（ただし、FIS コードを有し、ＳＡＣ２．３に記されている条件を満たすこと）

SAC 7 チームのサポート

各 SAC レースについて、有資格選手のいるチームはトレーニングキャンプ使用の目的で、7.1.1 に従い、該当選手及び役員1 名につき1 枚のリフトパスを受け取る権利がある。

SAC.7.1 *選手及び有資格選手の役員*

資格を有するのは、レースをスタートし、関係種目の有効FIS ポイントリストの上位75 位にランクしているスタート番号1～30 の有資格選手及びSAC.7.1.1.

SAC.7.1.1 役員（サービスパーソナル以外）

１－２ 有資格*選手のいるチームはリフトパス1 枚

３－５ 有資格*選手のいるチームはリフトパス2 枚

６－10 有資格*選手のいるチームはリフトパス3 枚

＊「有資格」：費用の払い戻しを受ける権利のある選手

SAC.7.2 .1 *ＤＨ、ＳＧ及びアルペンコンバインド*

ＤＨ、ＳＧ及びアルペンコンバインド について、条項7は適用しない。

セクション**B**：**ANZ**（オーストラリア・ニュージーランドカップ）

ANC.2.3 *最大出場枠*

オーストラリア及びニュージーランドは、一方の国で開催される大会に30 名（男子30 名及び女子30名）までの選手をエントリーしてよい。全選手は有効な FIS コードを所持していなければならない。

ANC.2.3.1 *開催国*

開催国は出場枠として、50名をエントリーできる；加えて他の開催国（オーストラリアで開催の場合はニュージーランド、ニュージーランドで開催の場合はオーストラリア）の30名に満たない分のエントリー権利を有する。全選手は、ＦＩＳコードを有しなければならず、（FIS ポイントを所有していなくても）出場できる。

ANC.2.3.3 *参加国に対する通常 FIS 出場枠*

開催国は、他地域の国々のエントリーを通常FIS 出場枠の2 倍まで許可する権利を有する。全選手は、以下に示すとおり有効FIS ポイントリストにランクしており、ＳＬとＧＳで最大140 FIS ポイント、ＤＨとＳＧ で最大160 FIS ポイントを所持していること。

- SL／GS：５種目のいずれかで出場資格がある
- ＤＨ：ＤＨ、又は、ＳＧで出場資格がある
- ＳＧ：ＤＨ、ＳＧ、ＧＳのいずれかで出場資格がある
- ＡＣ（ＤＨで行う場合）：:ＤＨ、又は、ＳＧで出場資格がある
- ＡＣ（ＳＧで行う場合）：ＤＨ、ＳＧ、ＧＳのいずれかで出場資格がある

NAC.2.3.3 を適用する開催国は、公式エントリーフォームを添え、競技又は初回公式トレーニングの少なくとも10日前までに書面で申請しなければならない。競技又は初回公式トレーニングの5 日前まで組織委員会が決定を下す。

ANC.2.3.4 *アフリカ大陸出身選手*

アフリカ大陸出身選手はオーストラリアニュージーランドカップ（ANC）レースにおいて、オーストラリア／ニュージーランド選手と同じ出場資格基準で出場できる。（ただし、FIS コードを有していること。FIS ポイントがなくても出場できる。）

ANC.2.4.2.1 *コンチネンタルカップ優勝*

別紙 3.2.2 にあるコンチネンタルカップ種目の優勝者は補足エントリー及びリフトチケットを受ける資格がある。

ANC 7 **チームのサポート**

各 ANC レースについて、有資格選手のいるチームは、実際にレースをスタートした有資格選手1 名につき公式トレーニング日と競技日ごとにフリーリフトパスを1 枚受け取ることができる。また、ANC7.1.1に従い役員もリフトパスを受け取ることができる。

ANC.7.1 *選手及び 有資格選手の役員*

資格を有するのは、レースを実際にスタートし、関係種目の有効FIS ポイントリストの上位75 位にランクしているスタート番号1～30 の有資格選手及びANC.7.1.1 に定める役員とする。.

ANC.7.1.1 *役員（サービス名員以外）*

１－２有資格*選手のいるチームはリフトパス１枚

３－５有資格*選手のいるチームはリフトパス２枚

６－10有資格*選手のいるチームはリフトパス3枚

「有資格」：費用返済を受ける権利のある選手

ANC.7.2.1 *DH、SG及びアルペンコンバインド*

DH、SG及びアルペンコンバインド について、条項7は適用しない。

コンチネンタルカップ主催者の義務

A. 広報

A.1 大会名称

主催者は大会名称を決定する義務がある

'FIS ヨーロッパ／北米／ファーイースト／南米／オーストラリアニュージーランドカップ' 又は 'FIS ヨーロッパ／北米／ファーイースト／南米／オーストラリアニュージーランドカップ -トロフィー(スポンサー名)を全ポスター、通知、プレスレポート、非公式リザルトリストに加え、プログラムおよびスタートリスト上に記載する。

A.2 その他の宣伝

上記のテキスト、名前、大会場所以外の他の宣伝をFIS の認可なしにフィニッシュバナーに載せてはいけない。

B. 情報の取り扱い

B1. *リザルト配布*

各コンチネンタルカップの小委員会、又は指定プレス及びリザルトオフィスは全体の広告や、前レースの各種目の広告を定期的にそして大会後すぐ出版する。

B.2 *電子メール／コンピュータ送信*

TDの承認直後、主催者は公式リザルト及びペナルティカリキュレーションをFIS データフォーマットの電子メールで送信しなければならない。alpineresults@fisski.com

C. プレスサービス

プレス サービスは一般に、国際スキージャーナリスト連盟の提言に従うこと。コンチネンタルカップレースのプレスアクレディは該当連盟のガイドラインに沿って作らなければならない。コンチネンタルカップのような大会の主催者は、期限内に提出された要請に従い、出版物、ラジオ及びテレビを自由に使用できる宿泊施設を確保すること。また、アクレディ申請書の数に見合った作業部屋及び必要最低限の技術補助（電話、FAX、電子メール）も確保すること。各競技での暫定順位を作成し、必要ならば競技ジュリーの決定を口頭で伝える、経験のあるプレス担当者を任命すること。

C.1 *公開ドロー*

公開ドローのテレビ取材、又は十分な公的関心がある場合、上位グループのスタート番号決定のための公開ドローを一つの競技について行ってもよい。

D. コンチネンタルカップ賞

D.1 *受賞*

上位 3 位が賞を受賞する。1 位のジュニアが総合レースで3 位以内に入っていない場合、彼／彼女に賞を与えることを強く推奨する。

D.1.1 *ヨーロッパカップでの賞金*

ヨーロッパカップ主催者は賞金として1 レースにつき少なくともCHF 2,300.--を準備しなければならない。この合計金額は上位5 選手で分ける（有効なFIS ポイントリストで上位20 位の選手は除く）。

代替レースの場合、最低金額の50%を準備しなければならない。

各国の税法を考慮の上、交換できる通貨で、授賞式のときに現金で渡すこと。

組織委員会は競技の開催される国における賞金への課税に関して選手をサポートすること。

D.2 *授与式*

各種目の授与式は各種目の最終レース終了後に行ってもよい。例えば、滑降及びスーパーG の受賞はシリーズの最終戦と共に行なわれ、回転及び大回転も同様である。総合順位に対する授与式はコンチネンタルカップシリーズ(及びネーションカップ)の最終レース後に行なわれる。

D.3 詳細

主催者は、温かく威厳のある簡素な表彰式を執り行わなければならない。野外での表彰式は最終レースをした場所、街やリゾートの広場で行う。場所、表彰台、場内放送システム、(マイク、アンプ、及び拡声器)、トロフィーやメダルを公に展示するに十分な机を準備しなければならない。

D.4 3位までの選手

男女の各コンチネンタルカップ決勝戦が同時に行なわれた場合、女子の表彰を先に行う。各種目及び,総合順位の上位3名が以下の順で召集される。：

- 3 位、2 位そして1 位- 各種目に関して

D.5 優勝者

名前を呼ばれた勝者は台の両側に残る。女子が一方、男子がもう一方とし、何度も呼ばれる選手が行き来しなくてよいようにする。

D.6 総合順位

-3 位及び2 位

-各コンチネンタルカップの勝者

D.7 賞の進呈

コンチネンタルカップ及びメダルはFIS 委員長、又はその代理により進呈される。

E. 輸送手段

E.1 上り坂輸送の使用

北米カップ：NAC.2.4.3 参照、オーストラリアニュージーランドカップ：ANC.2.4.2 参照

選手及び役員は、トレーニング及びレースコースへの輸送サービスを無料で使用するためのチケット又はID カードを持つ資格がある。

F. 経費の支払い／チームサポート

コンチネンタルカップルール 7 参照 (セクション A 及びセクション B).

主催者が手配した宿泊施設を利用する権利を有するチームについて、下記の指針を適用することがで

きる。事前にチームと合意に至った場合は、特別調整を行う。

F.1 コーディネーターの経費

指名されたFIS コーディネーターの宿泊及び食事は任命期間中の開催者が負う。

G. 宿泊施設

G.1 宿泊

選手及びコーチの宿泊には2 台までのベッドと風呂又はシャワーのついた部屋を提供すること。例外として、風呂またはシャワーのついた部屋でベッドが3 台あるものを提供してもよい。ただし、これは賞金の減額を導くものとする。

G.2 食事及び飲料

食事は健康を考え量も多く、選手の要望にかなったものでなければならない。食事は以下の指針にそっていなければならない。：

朝食：パン、バター及びミルク付コーヒー又は紅茶。卵、チーズ、ソーセージ及びいろいろな種類のシリアルを選べること。

昼食：スープ又は前菜、チームごとに200g の肉(ステーキなど、鶏肉又は魚の選択。野菜か他の付け合せ、チーズ、フルーツ、又はデザート、各自に1／2 リットルのミネラルウォーター

夕食：昼食と同様

G.3 食事時間

ホテルはトレーニング及び大会プログラムのスケジュール要請に合わせなくてはならない。例えば、回転及び大回転では、通常朝食をかなり早い時間にとる。滑降や毎日のトレーニングは午後2 時半ごろ終わるため、ホテルは選手やコーチに温かい食事を出さなければならない。主催者は、ホテル経営者に宿泊、食事に関わる契約や、連日のプログラムについて変更も含み、知らせる責任がある。

H. **スキールーム**

主催者はスキーの準備及び倉庫施設を全ての国が使用できるようにする責任がある。それらは暖房、換気、安全設備が整っていること。

該当責任は国ごとの定款に従っていること；主催者は企業又は地域／国家チームにより設備提供の要請を受けない。

(選手及びサービスマンの人数に従い推奨されるスキールームの大きさ)

I. ウォームアップコース／前走者

I.1 ウォームアップコース

主催者はチームに、競技ゲレンデ同様フォームアップ及びトレーニング用によく整備されたコースを提供しなければならない。：これらのコースはフェンスで隔離されていなければならない。可能であれば、そのうち1コースを1 日中自由に使えることが望ましい。

I.2 前走者

主催者は滑降及びスーパーG に対し、(6～10 名までの)十分な(FIS ポイントを有する)前走者を定めること。また、3～4 名を回転及び大回転に起用すること。

J. 技術的詳細

J.1 レースコース上のスノーコンディションに関する大会前の処置

レースコースに十分な雪がない場合、組織委員会は大会をキャンセルしなければならない。 FIS に任命されたエキスパート又はコンチネンタルカップ小委員会は組織委員会と合意の上決断を下す。

キャンセル締め切り：

- 滑降、及びスーパーG及びスーパーコンバインド： レースの10日前
- 回転及び大回転： レースの6日前
- オーストラリア／ニュージーランドカップ： レースの15日前

J.2 レスキューサービス

主催者はレースドクターを待機させる責任がある。主催者とともに、ドクターは適切な応急処置及びけが人の早急避難を行う。必要ならばヘリコプターを使用する。

J.3 中間タイム

滑降において主催者は中間タイミングポイント二箇所に公表タイムを提供する必要がある。組織委員会がこの使い捨ての中間タイム2 つを提供しない場合、開催国のチームは全チームに対し中間タイム2つを提供しなければならない。位置や必要となる保護具についての決定はジュリーが行う。

J.4 ビデオコントロール

EC 及びNAC 回転レースの主催者は少なくとも1 つのウォーターインジェクションビームを使用できるようにする義務がある。

J.5 ウォーターインジェクションビーム（水噴射ビーム）

EC 及びNAC 回転レースの主催者は少なくとも1 つのウォーターインジェクションビームを使用できるようにする義務がある。

K. アクレディ／アームバンド

ICR607、603.4.6.3 に従い、アクレディ及びアームバンドをチーム及び役員に配布しなければならない。
FIS が発行する公式のアクレディは大会のアクレディとして使用できるが、必ずしもコースへの進入許可ではない。

L. 総則

ICR、コンチネンタルカップルールセクションA・B 及び他の補足指示に厳密に従うこと。

1st place	100 points	16th place	15 points
2nd place	80 points	17th place	14 points
3rd place	60 points	18th place	13 points
4th place	50 points	19th place	12 points
5th place	45 points	20th place	11 points
6th place	40 points	21st place	10 points
7th place	36 points	22nd place	9 points
8th place	32 points	23rd place	8 points
9th place	29 points	24th place	7 points
10th place	26 points	25th place	6 points
11th place	24 points	26th place	5 points
12th place	22 points	27th place	4 points
13th place	20 points	28th place	3 points
14th place	18 points	29th place	2 points
15th place	16 points	30th place	1 points